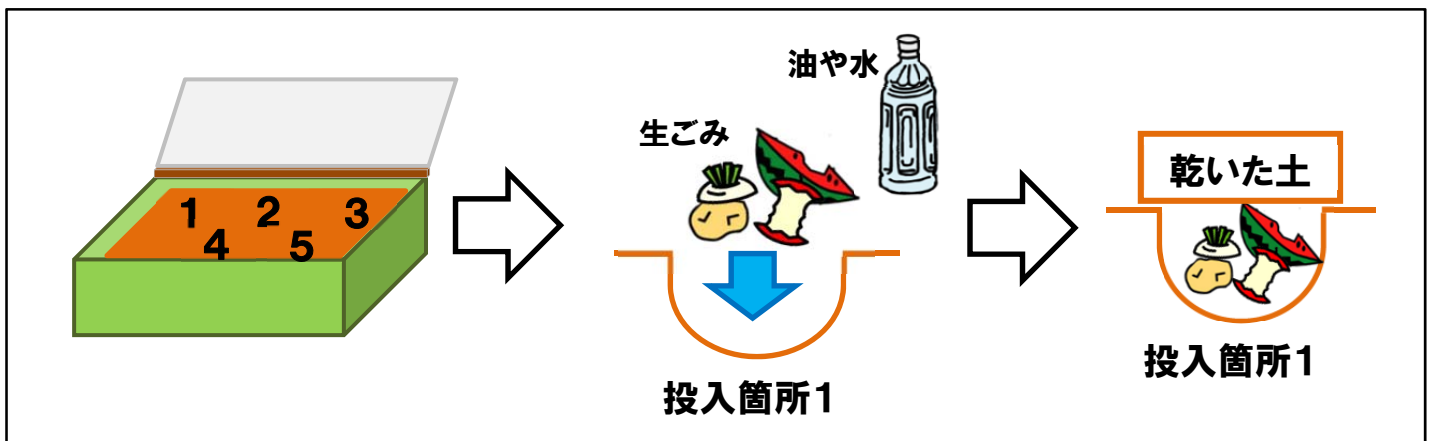


# ミニ・キエー口実証実験結果

設置場所：市川南仮設庁舎正面入り口前



1～5の箇所に生ごみを順番に投入。分解状況を観察する。



## 【使い方】

- ② 日当たり、風通しの良いところに容器を設置する。
- ② 黒土を容器の7分目あたりまで入れる。
- ③ 投入箇所を決め、生ごみを投入する。
- ④ 生ごみを切るように土とかき混ぜる。(油や水を加えると分解速度が早まります。)
- ⑤ 上から乾いた土をかぶせる。
- ⑥ 2、3日くらいを目安にエアレーション(かき混ぜて空気をいれてあげる作業)を行い、混ぜ終わった後は乾いた土を上からかぶせる。
- ⑦ 生ごみは夏場は4～5日、冬場は2～3週間程度で消滅する。
- ⑧ ④～⑥の作業をそれぞれの投入箇所で順番に行っていく。

## 実験結果 抜粋

※実験環境によって分解速度は異なります。

### 『夏～投入箇所③～』

2017年6月21日 投入

内容物 150g

オレンジの皮、キウイの皮、こまつな根、  
しいだけの軸



6月27日 経過

表面が白くなっており、  
分解がはじまっていることが確認できた  
分解のスピードとしては遅い



7月13日 消滅

オレンジの皮やこまつなの軸がなかなか消滅  
しなかったが、オレンジの皮は触ると粉状に  
崩れ、こまつなの軸は水分がなくなり、乾燥  
した状態となっていた。これ以上観察を続け  
ても消滅が見込めないため、残っていたもの  
は回収した。

2017年7月19日 投入

内容物 150g

マカロニ、ツナ、きゅうり



7月21日 経過

塊は小さくなっており、分解が進んでいることが確認できた。



7月27日 経過

分解がはじまっており、白い塊が数個できていることが確認できた。

土を掘り起こした際に、腐敗臭のような臭いがした。



8月1日 消滅

残っていたものもなくなっており、すべて分解され消滅した。

全体的に分解速度が遅い。おそらく、設置場所の日当たりが原因ではないかと考えられる。全く分解をしていないわけではないため、今後も実験結果をみていく。



## 『夏～投入箇所②～』

2017年8月28日 投入

内容物 250g

天ぷら（えび、なす、いも）、  
ゴーヤ、たまご、ベーコン、レタス  
ナスの素揚げ



8月30日 経過

分解がはじまっており、塊がいくつか  
で来ていた。水を加え様子を見る。  
かき混ぜた際、臭いがきつかった。



9月7日 消滅

残っていたものもなくなっており、  
すべて分解され消滅した。

油の多く含まれている天ぷらの衣などは分解が早かったが、えびの尾などは、なかなか分解されなかった。

